

2023年度 小委員会活動成果報告

(2024年1月29日作成)

| | | |
|------------------------------|--|------------------------------|
| 小委員会名 | 既存木造建築物調査診断小委員会 | 主 査 名：山口 修由 就任年月：2023年4月 |
| 所属本委員会 | 材料施工委員会 | 委員長名：野口 貴文 |
| 設 置 期 間 | 2023年4月 ～ 2027年3月 | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き) | <p>2022年3月に刊行した「既存木造建築物健全性調査・診断の考え方(案)」の普及促進のために、調査・診断用ツールの整備を行うほか、調査・診断事例を収集して、既存の診断法の改良等を検討し、既存木造建築物健全性調査診断事例集の発行(2027年度を目標)を目指す。</p> <p>初年度：既存木造建築物健全性調査診断事例集の作成準備 最新の試験装置、調査法、診断法に関する文献収集</p> <p>2年度：既存木造建築物健全性調査診断事例集の原稿案作成 最新の試験装置、調査法、診断法に関する文献整理</p> <p>3年度：既存木造建築物健全性調査診断事例集の原稿作成、査読対応 最新の試験装置、調査法、診断法のとりまとめ</p> <p>4年度：既存木造建築物健全性調査診断事例集の刊行(シンポジウムの開催)</p> | |
| 委員構成 (委員名(所属)) | <p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：山口修由(日本住宅・木材技術センター) 幹事：石山央樹(大阪公立大学)、森拓郎(広島大学) 委員：大塚亜希子(秋田県立大学)、興石直幸(早稲田大学)、澤田圭(北海道大学)、津和佑子(文化財建造物保存技術協会)、戸田正彦(北海道立総合研究機構)、中尾方人(横浜国立大学)、中島正夫(関東学院大学)、原田真樹(森林総合研究所)、山崎真理子(名古屋大学)</p> | |
| 設置WG (WG名：目的) | <p>調査・診断事例編集WG：木造建築物の健全性調査診断の事例を収集及び刊行</p> <p>木材劣化診断手法調査WG：木材の劣化診断手法の文献収集及びとりまとめ</p> | |
| 2023年度予算 | 140,000円 | ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：無 |

| 項 目 | 自己評価 |
|---|---|
| 委員会開催数 | 5回(年度内計画を含む) |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は除く) | |
| 講習会 | |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画 | |
| 大会研究集会 | |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等 | |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係) | <p>1. 事例調査のための建物調査シートを作成、診断結果報告シートの作成をおこない、建物調査を実施して、必要な修正などがなければの確認を進めた。</p> <p>2. 新しい研究事例の収集を始め、コンテンツの分類分けなどを進めた。</p> |
| 委員会活動の問題点・課題 | |